

が育った を感じることに

～木育事例集 2～

「何でもいから板を持てきて、組み立てて箱作って・・・というのが従来の木工。

でも、

それがどんな木材でどんな森から持てきたかということ、
木をもて語れたり伝えられたりするのが木育だと思ふ。」

はじめに

「木が育った森を感じる～木育事例集2～」をお手にいただきありがとうございます。

とはいえ、みなさんは「木育（もくいく）」という言葉を知っていましたか？

「木育」は、平成16年にここ北海道で生まれた言葉です。

木育とは、子どもをはじめとするすべての人々が、『木とふれあい、木に学び、木と生きる』取組です。それは、子どものころから木を身近に使っていくことを通じて、人と、木や森とのかかわりを主体的に考えられる豊かな心を育むことです。

どうでしょう？ なんとなく、素敵な取組だなと思っていただけましたか？

でも、この木育の取組を実践していくためにはどうしたらいいの・・・？

と、思ったみなさん、心配しなくても大丈夫です！！

なぜって、北海道には全道各地に『木育マイスター』がいるのですから。

『木育マイスター』は、北海道が開催する「木育マイスター育成研修」を受講し、認定された、木育プログラムの企画立案や指導、アドバイス、コーディネートができる木育のスペシャリストです。

この事例集は、「木育ってどんなこと？」、「木育って何をしたらいいの？」というみなさんに参考にしていただけたらと思い、木育マイスターによる、様々な施設（幼稚園、保育所、商業施設など）における木育活動（木育プログラムの実施）などについて取りまとめたものです。

みなさんも、お気に入りの「木育活動」を見つけて、ぜひ実践してみてください。

全道の木育マイスターが、きっとみなさんの力になりますよ！！

平成24年6月

北海道水産林務部林務局林業木材課

目 次

1 はじめに

2 木育事例集

＜木育活動普及促進事業＞

- 虹色、茶色、声色が、温かい空間をつくりだす【コープさっぽろ岩見沢東店～空知総合振興局】 4
- 木と材のつながりを、手稲の人とのつながりに【松葉幼稚園～石狩振興局】 5
- 夏には見えないもの、聞こえないものがあります【寿都保育園～後志総合振興局】 6
- 木に二度目の生をおくってもらうために【白雪幼稚園～胆振総合振興局】 7
- 森の季節の移り変わりを感じて、やさしさやたくましが深まりますように【夢の国幼稚園・保育園～日高振興局】 8
- 木のタマゴの温かさと、ペレットストーブの暖かさに触れる【浦河フレンドようちえん～日高振興局】 9
- 郷土の樹木で楽しみ、自然の恵みを感じる【大門キッズスタジアム～渡島総合振興局】 10
- 作った記憶が、木とともに残ることを願って【フィール旭川もりもりパーク～上川総合振興局】 11
- 古に経木は人の糧を包み、今は人の心も包みます【古丹別保育所～留萌振興局】 12
- 地元産の木の香りと木製遊具の温もりの中で【ひまわり保育園～オホーツク総合振興局】 13
- 地域の森への関わりが、人とのつながりを深めていく【イオンモール釧路昭和～釧路総合振興局】 14
- 仕事を通じた木との関わりと、思いを伝える道具たち【標津双葉保育園～根室振興局】 15

＜その他の木育活動＞

- 木育職人塾 森のものづくり【コープさっぽろ西宮の沢店～コープさっぽろ】 17
- 木育フェア in アリオ札幌【アリオ札幌～イトーヨーカドー】 17
- キッズマイチャレンジフェスタで木育【札幌パークホテル～emina】 17
- 木育ひろば in ウイングベイ小樽【ウイングベイ小樽～ようてい森林組合、後志総合振興局など】 18
- 木育フェスタ～いちにち木の日～【大沼ふるさとの森自然学校～木育マイスターなど】 18
- オホーツク木育ひろば【札幌駅前通地下歩行空間～オホーツク木のプラザ】 18
- 木育イクメン【りんくる＆美登位創作の家～手稲さと川探検隊】 19
- 赤ちゃん木育広場・赤ちゃん木育寺子屋【札幌市～マザーズスペースミナ】 19
- 製材工場見学や学校訪問を通じた「木育教室」【渡島管内～(株)ハルキ、釧路管内～(株)丸善木材】 19
- スノーシュートレッキングを通じた「木育」【東川町キトウシ山～NPO 法人ねおす「大雪山自然学校」】 19

3 資料集

＜木育のプログラム例＞

- 「木育マイスターと一緒におもちゃと森で遊ぼう！」【標津双葉保育園～根室振興局】 21

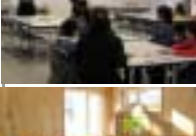
＜木育イベントに必要な経費＞

23

木育活動普及促進事業

木育遊具導入施設等へ、「木育マイスター※」など、木育に関する指導者を派遣する事業

- ・木育遊具の活用と、木工体験・森林観察体験等を組み合わせた木育活動の実施
- ・木育遊具導入施設における継続的な木育活動の企画提案

区 分	年月日・場所・指導者	実施概要
	平成24年3月4日（日） コープさっぽろ岩見沢東店（岩見沢市） 木育マイスター 會田めぐみ、河岸さおり	木に親しんでもらうため、木のおもちゃの遊びのほか、絵本の読み聞かせ、木のコースターづくりを実施しました。
	平成24年2月17日（金） 松葉幼稚園（札幌市） 木育マイスター 源真紀、後藤菜摘子	タネから木に成長し、伐って加工すると、材になるという話の後、木のスプーンづくりを行い、木の感触や匂いを感じてもらいました。
	平成24年2月25日（土） 寿都保育園（寿都町） 木育マイスター 櫻井善文、中村裕	遊具を使った遊びの紹介や、使用している木の種類の学習、バードコールの作成、げんきの森で冬の森林について学習をしました。
	平成24年2月1日（水） 白雪幼稚園（登別市） 木育マイスター 大橋祐介	森林の役割と大切さについてお話した後、木の良さを体感してもらうために、木のコースターづくりを行いました。
	平成23年10月4日（火） 夢の国幼稚園・保育園（浦河町） 木育マイスター 中村裕	ピスカリの森で、絵本の読み聞かせや冬芽の観察などを行った後、幼稚園に戻り、落ち葉で絵をつくり、ラミネート加工しました。
	平成24年1月25日（水） 浦河フレンドようちえん（浦河町） 木育マイスター 中村裕、櫻井善文	木の卵により、素材感と森と木の関係を伝えた後、木の活用方法を学ぶため、ペレットストーブ燃焼体験や、おがこあーとをしました。
	平成23年12月4日（日） 大門キッズスタジアム（函館市） 木育マイスター 鈴木正樹	森づくりから木材利用までの森林循環を伝えるため、紙芝居、道南杉コースターやリースづくり、木のおもちゃ体験等を実施しました。
	平成23年12月9日（金） フィール旭川もりもりパーク（旭川市） 木育マイスター 大和正枝	親子が一緒になって、道産材木製フォトスタンドを使ったスクラップブッキングをしました。最後にトドマツのイーゼルに飾って完成。
	平成23年12月4日（日） 古丹別保育所（苫前町公民館）（苫前町） 木育マイスター 大和正枝	木のおもちゃに触れる体験の大切さを伝えた後、経木を使ったクリスマスカードづくりを行い、木の感触に触れてもらいました。
	平成24年2月1日（水） ひまわり保育園（美幌町） 木育マイスター 丹野雅人	森づくりから、木材利用までの森林循環を伝えるため、紙芝居の読み聞かせを実施しました。
	平成23年11月12日（土）～13日（日） イオンモール釧路昭和（釧路市） 木育マイスター 鈴木憲太郎	「木育」の説明の後、木の置き台や、木のマグネットづくりを行い、様々な種類の木の色、香り、硬さの違いを体験して頂きました。
	平成24年3月7日（水） 標津双葉保育園（標津町） 木育マイスター 柴田智幸、萩原寛暢、菊地三奈	遊具での遊び、絵本の読み聞かせ、屋外での活動などから、「樹木（森）」と「材（おもちゃ）」のつながりを知ってもらいました。

※木育マイスター

北海道が認定する、木育を普及させる専門家。ある分野（森のこと、木工についてなど）の専門的知識を持ち、企画力やコーディネート力のある方。自分の得意分野でない活動をする際には、その分野に強い方の協力を得てプログラムを組み立てるようにします。学校や団体から依頼があれば、木育プログラムの企画立案や運営実施のアドバイスやプロデュースをします。自らアクティビティを行う場合もあります。

虹色、茶色、声色が、 温かい空間をつくりだす

～音と色、そしてみんなの笑いが息づいている空間～

平成 24 年 3 月 4 日 10:30～11:30

コープさっぽろ岩見沢東店(岩見沢市 5 条 12 丁目 8)



1



2



3

1 いろいろな木製遊具に触れる 2 絵本の読み聞かせ 3 道内産シラカバやサクラの輪切りを使ったコースターづくり

■木育活動の流れ

●準備

- ・木製遊具は、木育マイスターの所属する聖十字幼稚園を通じてレンタル。
- ・絵本はハッピーレインボープロジェクトが準備。
- ・木のコースターやクルクルレインボーの作成に係る資材は、振興局林務課・森林室が準備。

●実施

- ・「木のプール」や、小型の木製遊具の遊びを通じて、木のぬくもりを感じてもらいました。
- ・絵本の読み聞かせ、道産材の輪切りを使ったコースターづくり、クルクルレインボーづくりなど、絵本や工作の楽しさを知ってもらいました。

●参加者

- ・約 300 名（子ども・大人）。
- ・木育マイスター 會田氏、河岸氏、ハッピーレインボープロジェクト 松川氏ほか 9 名。
- ・空知総合振興局林務課・森林室。

<施設運営者の感想>

次年度以降も、管内の他店でも同じようなイベントの開催を検討していきたい。

大小様々な木製遊具が揃えられ、絵本の読み聞かせや、色とりどりの工作など、「木育」をきっかけとした、人のつながりを作ることができました。

▶木のおもちゃで遊ぼう

「レインボーブロック」、「タマコロファミリー」、「コロコロ柄付き」など、乳児向けの様々な小型木製遊具から、カブラ（積み木）など、その使い方に様々な工夫が必要な木製遊具などを並べることで、遊具に触れる年



齢層を考慮し、それぞれがじっくりと遊んでもらえる空間づくりを意識しました。【木育マイスター 會田・川岸】(写真 1)

▶木工教室でコースターづくり
道内産のシラカバとサクラの間伐材を輪切りにしたものに、

ポスターカラーで絵を描きます。

2 つの木の色の違いなどが楽しめます。【空知林務課・森林室】(写真 3)

▶くるくるレインボーづくり

竹ひごに、カラーテープを 2 箇所とめて作ります。遊び方は？それは「発見」するのです。【ハッピーレインボープロジェクト】



▶絵本の読み聞かせなど

このほか、絵本の読み聞かせや、パネルシアター、手品、腹話術なども実施され、幅広い年齢層が楽しめるイベントになりました【ハッピーレインボープロジェクト】(写真 2)

木と材のつながりを、 手稲の人とのつながりに

～木製遊具から木材へ、そして樹木へ、葉へ、タネへ～

平成 24 年 2 月 17 日 10:30～11:30

松葉幼稚園（札幌市手稲区新発寒 5 条 9 丁目）



1 木育マイスターの源氏による木のスプーンづくり 2 ニレのタネ、ハッピーって？ 3 1つ1つがみんな違うスプーンが完成！

■木育活動の流れ

●準備

- ・木製遊具は、丸善木材の「ツリーハウス」を松葉幼稚園が購入。
- ・木製遊具に使われている、ニレの木のタネなどは、手稲さと川探検隊が準備。
- ・スプーンづくり等の資材は、振興局林務課が「草の実工房もく」などから手配。
- ・イベントに向けて関係者で数回打合せ。

●実施

- ・タネからどんな木になって、それを加工すると材になるということを、実際の木やタネを示しながらお話しました。
- ・木工作は、木のスプーンに紙やすりをかけた後、エゴマ油を塗って完成。木の手触りや匂いを五感で感じ、各家庭にあるスプーンと木のスプーンの食べ比べを提案しました。

●参加者

- ・園児（年長）67 名と先生 2 名
- ・木育マイスター源氏、後藤氏、手稲さと川探検隊鈴木氏、及びスタッフ。
- ・石狩振興局林務課・森林室。

<施設運営者の感想>

次年度以降も、木育マイスターを活用する方針

お雛様も飾られるホールで「木育教室」はスタート。

野外に設置したツリーハウスの「ニレ材」と、「ニレの木」を組み合わせることや、木のスプーンづくりを通じて、「材」と「木」の関係を知ってもらう木育活動になりました。

木育マイスターの所属する「手稲さと川探検隊」の協力も頂き、今後の地域のつながりも期待できます。

▶この木どんな木？

松葉幼稚園の設置された木製遊具「ツリーハウス」の土台に使われている「ニレ」について、「ハルニレ」の写真と、冬になる前にとっておいた「ハルニレ」の「葉」、「タネ」ともに紹介しました。

そして、木がどこからスタートするのかを意識してもらうため、様々な樹種のタネを準備して紹介（ドイツトウヒ、オニグルミ、キハダ、カツラ、ニホングリ、カシワ・・・）、するとともに、その用途について・・・人が食べる（オリーブ

オイル、クミンなどの香辛料、コーヒー豆）、リスなどの動物に食べられた松かさ・・・も紹介しました。【手稲さと川探検隊鈴木】（写真2）

▶木のスプーンづくり

木のスプーンに紙やすりをかけたあと、エゴマ油を塗り完成させました。

作るにあたっては、途中で木の匂いや感触を感じてもらう時間を設ける他、力を入れすぎて壊さないよう見守りも重視して取り組みました。

最後に、各家庭にあるスプーンと木のスプーンの食べ比べを提案しました。【木育マイスター源、後藤、手稲さと川探検隊スタッフ】（写真1、3）



<指導者の感想>

木のスプーンづくりでは、ブナとサクラの材を使用していましたが、事前にブナとサクラの葉っぱと種を園児に実際に見て、触れてもらうことで木と材のつながりを感じてもらえるように意識しました。また、作るときは木の匂いや感触など五感も意識し伝えるよう配慮しました。

～木育マイスター源、後藤

夏には見えないもの、 聞こえないものがたくさんあります

平成 24 年 2 月 25 日 10:00～14:00
寿都保育園 (寿都町字開進町 187 番地 1)

～冬の森にも、不思議がたくさんあります。～



1 げんきの森でループを使って冬芽の観察



2 地元の広葉樹を使ったバードコールづくり



3 雪に残っている動物の足跡クイズ

■木育活動の流れ

●準備

- ・寿都町役場と木育マイスター、振興局が事前に電話・メール等で数回打合せ。
- ・木のプールやカプラなどの木製遊具は、施設がレンタル。
- ・バードコールは寿都町、絵本やパワーポイントは木育マイスター、プロジェクトやパソコン、ファイバースコープなどは振興局林務課がそれぞれ準備。

●実施

- ・冬の森林について学ぶため、絵本の読み聞かせや、動物の足跡クイズをしました。
- ・ファイバースコープを使った観察や、地元の広葉樹を使ったバードコールづくりをしました。
- ・湯別地区のげんきの森に移動し、冬の森の状況や冬芽の観察、動物の足跡探索、作ったバードコール遊びで楽しみました。

●参加者

- ・園児と保護者等 14 名。
- ・木育マイスター櫻井氏、中村氏、寿都町役場。
- ・後志総合振興局林務課。

<施設運営者の感想>

今後も、山・川・海を中心とした木育活動を継続していきたい。ただ、木育活動を継続的に指導できる者の確保が必要。

冬の森についての学習と実地観察を通して、冬芽や動物の足跡を見て知る「視覚」の試みに、バードコールづくりによる木の感触や音など「触覚・聴覚」を加えることで、より人間の五感を働かせることを意識した「木育」の取組になりました。

▶冬の森林の学習

冬の森林について学ぶため、絵本「ふゆめがっしょうだん」で冬芽の紹介をしました。また、雪に残っている動物の足跡について、パワーポイントを使ったクイズ形式の学習、ファイバースコープを使って木材の表面を拡大し、導管や年輪が木の種類により違っていることの学習をしました。【木育マイスター櫻井・中村】(写真3)

▶バードコールをつくろう

バードコールは、広葉樹などの堅い木の木片に、ドリルで真ん中にネジ穴をあけ、その穴にねじ穴より少し大きい小型の丸環ネジをねじ込むことで鳥のさえずりのような音を出して

鳥を寄せつけるものです。

今回の工作では、(広葉樹にドリル穴をあらかじめ空けておき)ねじ穴に、丸環ネジを何度も繰り返しねじ込み、金属音が「鳴き声」になる状態を確かめた後、持ち運べるように丸環部分に紐を付けて首からぶら下げられるようにしました。【寿都町役場】(写真2)

▶冬の森の観察をしよう

室内学習のキーワード「冬芽・冬の森」を実際に確かめるため、湯別地区のげんきの森で、ループなど使って観察をしました。

また、動物の足跡探索や、バードコール遊びで、冬の森を楽しみました。【木育マイスター櫻井・中村、寿都町役場】(写真1)

<指導者の感想>

お天気もわりと良くて、お外で足跡観察や木登りをしました。みんな元気で、追いつくのがやっとでした。今度は夏の森を楽しみたいです。

～木育マイスター櫻井

木に二度目の生をおくってもらうために

平成 24 年 2 月 1 日 10:00～11:10
白雪幼稚園（登別市登別本町 2 丁目 25-8）

～森や木は、生き物や人間にとって無くてはならない大切なもの～



1 木育マイスターの大橋氏による絵本の読み聞かせ 2 木のコースターづくり 3 作成したコースターとバットなど木製品の展示

■木育活動の流れ

●準備

- ・施設管理者と木育マイスター、振興局が事前に電話・メール等で数回打合せ。
- ・木のプールなどの木製遊具は、登別市からレンタル。
- ・バットやバードコールなどの木製品は振興局林務課が準備。

●実施

- ・森林の大切さを伝えるため、絵本の読み聞かせをしました。
- ・アオダモのバット、バードコールなどを紹介するとともに、木のコースターづくりを通して森で育った木々は身近なものに利用されていることなどをお話ししました。
- ・木の砂場などの木製遊具のコーナーを設け、自由に木にふれあってもらいました。

●参加者

- ・園児（年長）21 名と先生 3 名。
- ・木育マイスター大橋氏。
- ・胆振総合振興局林務課。

<施設運営者の感想>

木育マイスターやその所属の NPO 法人登別自然活動支援組織モモンがくらぶ（登別市ネイチャーセンター「ふおれすと鉱山」）と接点ができたことで、機会があれば木育行事を行いたい。

絵本で「木をめぐる自然の移りかわり」を伝え、アオダモの幹やバットなどで、「木は木材になってまた生まれ変わる」ことや、「森や木は生き物や人間にとってなくてはならない大切なものという意識」を伝えました。

▶森林の大切さを知ろう

自己紹介で、子どもたちとの距離を縮めるとともに、絵本「いっぽんの木」の読み聞かせにより、木を中心とした自然の移り変わりや森の大切さを伝えました。【木育マイスター大橋】（写真①）

▶木のコースターをつくろう

輪切りにした木を活用して、コースターをつくりました。コースターには子どもたちに自分の好きな絵を描いてもらい、その後に自分の作品を一人ずつ発表しました。最後は作品を玄関に展示し、来園者にも関心をもっていただきました。【木育マイスター大橋】（写真②、③）

▶身近な木製品を知ろう

大きく成長した木は、伐採し製品になることにより「木は木材になってまた生まれ変わる」ことをアオダモの幹やバットなどを用いて紹介しました。



また、木のコースターづくりや木の砂場などの木製遊具で遊ぶことを通して、木のぬくもりにふれあいました。【木育マイスター大橋、胆振林務課】

<指導者の感想>

実際に木に触れることで、木のぬくもりや重さを感じてもらうことができ、これからも木に親しみを持ってくれたらうれしいです。今後は、屋外で五感を使って活動できたらいいですね。季節ごとの自然遊びも楽しいですよ。

～木育マイスター大橋

森の季節の移り変わりを感じて、 やさしさやたくましさが深まりますように

平成 23 年 10 月 4 日 10:00～13:30

夢の国幼稚園・保育園（浦河町堺町西 1 丁目 11-21）

～冬芽がモコモコしているのは、冬の間凍らないようにするためなんです～



1 木育マイスターの中村氏（右）と助手の櫻井氏（左）による絵本の読み聞かせ



2



3

2 落ち葉のラミネート加工 3 園内の木製すべり台

■木育活動の流れ

●準備

- ・木製すべり台（写真3）は、園の新設に合わせホールに設置。
- ・施設管理者と事前に数回打合せを行うとともに、「ピスカリの森」の植栽を確認。
- ・資材のうち、絵本と冬芽は木育マイスターの中村氏らが準備、観察に使う虫眼鏡やラミネーターは振興局林務課が用意。
- ・木育活動の全体を把握するため、中村氏が実施計画書（木育のプログラム）を作成。

●実施

- ・「ピスカリの森」で、絵本「ふゆめがっしょうだん」の読み聞かせの後、虫眼鏡で冬芽の観察と、落ち葉拾い。幼稚園バスで園に移動後、拾った落ち葉をラミネート加工しました。

●参加者

- ・園児（年長）36名と先生2名。
- ・木育マイスター中村氏、助手櫻井氏（H23木育マイスター）。
- ・日高振興局林務課。

<施設運営者の感想>

これまでも森林散策や、どんぐり拾い、落ち葉のプールなど、木育活動をしてきたので、今後とも積極的に取り組んでいきたい。ただ、先生方も木に関する知識が多くないため、教えてくれる人がいると有り難い。

秋の好天にも恵まれ、野外での冬芽の観察と、室内での落ち葉のラミネート加工を組み合わせることで、木そのものに親しんで貰う木育活動になりました。木育マイスターの綿密な木育プログラムもポイントです。

▶森の中で絵本を読んでみよう
絵本「ふゆめがっしょうだん」等で、これから観察を行う冬芽についての興味を引き出しました（初対面の木育マイスターと園児との抵抗感をなくす意味もあります）。その際、幼稚園にある木製すべり台やピアノが木でできていることを話し、木を身近に感じてもらうよう心がけました。【木育マイスター中村・櫻井】（写真1）

▶冬芽（木の芽）をみてみよう
ナナカマドやオニグルミの冬芽を虫眼鏡で観察したり、触ってみたりして、ベトベトしていたり、フサフサしているのを実感してもらい、冬でも木が生きていく仕組みであることを学習してもらいました【木育マイスター中村・櫻井、日高林務課】

▶落ち葉をあつめてみよう

「ピスカリの森（浦河町げんきの森）」の中を歩いて、シャクナゲやプラタナスの落ち葉を拾い、その葉が何の木の葉なのか、また、落ちている木の実が何の木の

実なのかなど、木について、さらに興味を持ってもらえるよう働きかけました。【木育マイスター中村・櫻井、日高林務課】

▶落ち葉で絵を描いてみよう

幼稚園に戻り、自分で拾った落ち葉で絵を作る（ラミネート加工）ことで、秋の日の森林体験の思い出にしてもらいました。【木育マイスター中村・櫻井、日高林務課】（写真2）

<指導者の感想>

「五感」をキーワードに屋内、屋外それぞれで楽しめるプログラムを考えました。

それまで園児向け木育教室の経験があまりなかったので、色々と準備をして臨みましたが、子ども達の行動力や想像力の大きさに、こちらが学ばされることばかりでした。みんなとてもいい子たちで、楽しかったです。

～木育マイスター中村

木のタマゴの温かさと、 ペレットストーブの暖かさに触れる

平成 24 年 1 月 25 日 10:00～11:30

浦河フレンドようちえん（浦河町旭町 42-1）

～木は、タマゴにも、燃料にも、絵の材料にもなるんです～



1 木育マイスター櫻井氏によるペレットストーブの燃焼実演 2 木育マイスター中村氏による「木のタマゴ」の説明 3 おがこあーと

■木育活動の流れ

●準備

- ・木製玩具「木のタマゴ」(写真2)や、絵本、「屋外型ペレットストーブ」(写真1)は木育マイスターの中村氏らが準備。
- ・「おがこあーと」など資材一式は振興局林務課が用意。
- ・木育活動の全体を把握するため、木育マイスターが実施計画書(木育のプログラム)を作成。

●実施

- ・絵本「おちばいちは」の読み聞かせを行った後、「木のタマゴ」についてのお話をしました。
- ・屋外型ペレットストーブの燃焼実演をするともに、園の周囲の木のお勉強をしました。
- ・ペレットストーブで焼いたじゃがいもの試食と、「おがこあーと」で楽しみました。

●参加者

- ・園児(年長) 28 名と先生。
- ・木育マイスター中村氏、櫻井氏。
- ・日高振興局林務課。

<施設運営者の感想>

木育教室の内容については、とても楽しめ、興味を持ってもらえたようで、とても良かった。小さい頃から木に親しみを持つという木育については、重要だと思っているので、今後も様々な形で活動してみたい。

きりん形のペレットストーブを屋外で燃焼し、立つ煙を見たり、じゃがいもを焼いて食べるなど、冬の寒さを忘れる楽しい木育活動になりました。

▶絵本を読んでみよう

絵本「おちばいちは」の読み聞かせにより、木



(と、木育マイスター)への興味を引き出しました。【木育マイスター中村・櫻井】

▶木のたまごに触れてみよう

北海道産の 10 種類の木で作った「木のタマゴ」を見せ、触ってもらうことで、木の色や匂い、重さ、温かみがあることを知ってもらうとともに、樹種によって、それらが全て違うことを感じてもらいました。【木育マイスター中村】(写真2)

▶ペレットストーブって知ってる？

屋外に設置した、キリン形のペレットストーブの周りに集まり、木質ペレットを見て触れ

てもらうとともに、実際にストーブにペレットをくべ、火をつけて燃焼実演をしました。そして、グリル台でジャガイモを焼きみんなで食べました。ペレットが焼ける煙と匂い、そのストーブの形に興味津々です。【木育マイスター中村・櫻井】

▶身近な木に触れてみよう

幼稚園の周囲にある木で、冬芽などのお勉強をしました。【木育マイスター中村・櫻井】

▶おがこで絵を描いてみよう

園に戻り、おがこあーとを実施しました。日高の製材工場が出た端材の板に、思い思いの絵をおがこで描いてもらいました。【木育マイスター中村・櫻井、日高林務課】(写真3)

<指導者の感想>

煙突の煙は初めてという子どももいて、やってよかったなと思いました。わたくしが一生懸命焼いたおいもを「おいしい!」といってくれて、ものすごくうれしかったです。また遊びに(いえ、木育に)行きたいです。ありがとうございました。

～木育マイスター櫻井

郷土の樹木で楽しみ、 自然の恵みを感じる

平成 23 年 12 月 4 日 10:00～17:00
大門キッズスタジアム（函館市若松町 20-1）

～函館の市街地に、道南の森の恵みがあふれました～



1 木育マイスターの鈴木正樹氏による紙芝居 2 リースづくり 3 どうやってここまで積んだのか・・・道南杉の積み木

■木育活動の流れ

●準備

- ・木製遊具「道南杉の積み木」（写真3）は、大門キッズスタジアムが購入。木のプールは認定こども園どんぐりからレンタル。
- ・リースづくり等の木工作の資材は、振興局林務課・森林室で近隣の山林で収集、塗装。
- ・イベントに向け、資材搬入や手配、関係者で 10 回近く打合せ。

●実施

- ・森林づくりから木材利用までの循環プロセスを伝える木育教室を開催。
- ・木製遊具での遊びや、松ぼっくり・ツルなど活用した工作体験を通じ、様々な森の恵みに触れてもらいました。

●参加者

- ・施設利用者数約 600 名のうち 500 名が木育教室に参加
- ・木育マイスター鈴木氏、大門キッズスタジアム、(株)ハルキ、認定こども園どんぐり、芽森氏。
- ・渡島総合振興局林務課・森林室。

＜施設運営者の感想＞

「道南杉の積み木」設置場所の周囲に木育・地材地消ポスターを常時掲示することで、引き続き、来場者に対し木育をPRするとともに、施設職員の意識を高め日常的な活動の中に木育を取り入れていく。

木育マイスターはじめ、施設、地元企業、その他関係者の緻密な事前準備の成果が、悪天候にもかかわらず 500 人近くの参加を頂くなど大盛況でした。木育を伝えようとする各々の強い思いが伝わってきます。

▶紙芝居

森林づくりから木製品ができるまでの行程を紙芝居で紹介しました。紙芝居の枠も当然「道南杉」です。（写真1）

▶木製遊具コーナー

道南杉で作った積木その他、木のプールなどを設置しました。木の良い香りが施設を包みます。（写真3）

▶松ぼっくりツリーづくり・リースづくり

道南地域で採れる松ぼっくりを、ツリーにみたくて飾り付け。松ぼっくり（着色済）やツルでクリスマスリースを作りました。（写真2）

▶道南スギコースターにお絵かき

道南杉の四角板に、マジックで絵を描くコースターづくりをしました。

▶木育・地材地消パネル展

木製遊具の周囲に木育・地材地消ポスターを常時掲示することで来場者に対し木育をPRしました。

▶芽森氏とあそぼう

森林づくりのイメージキャラクター芽森（めもり）氏が出現しました。



＜指導者の感想＞

今回は小学校低学年以下の子供たちをターゲットにしてイベントを行いました。木は身近にあり、木を使って楽しいことができる、そして木は大事なものである、ということを伝えたいという思いから様々な体験活動を用意しました。子どもたちには、木々に関心を持ち続けてもらい、将来、地元の木を活用しよう！と思える大人になって欲しいと思います。今後は子どもたちの思いが途切れないよう、小学校高学年～高校生までもが行えるイベントを行いたいです。

～木育マイスター鈴木正樹

古に経木は人の糧を包み 今は人の心も包みます

平成 23 年 12 月 4 日 10:00～15:00

古丹別保育所（苫前町公民館：苫前町古丹別 187-15）

～冬の日本海が温かい心で包まれるように～



1 木育マスターの大和氏による経木を使ったクリスマスカードづくり



2 木のおもちゃに触れる



3 木の玉プール他、木製遊具

■木育活動の流れ

●準備

- 木製遊具（写真3）は、「木のプール」などを、林産試験場「木路歩来」等からレンタル。
- クリスマスカードづくりなどの資材は、木育マスターの大和氏が準備。
- 苫前町、振興局林務課・森林室で数回打合せ。

●実施

- 木育マスターによる「木のおもちゃの」お話の後、経木などを使ったクリスマスカードづくりをしました。
- 森林室により、松ぼっくりを使ったミニツリーづくりをしました。

●参加者

- 古丹別保育所等、施設周辺地域の親子など 27 名
- 木育マスター大和氏、苫前町
- 留萌振興局林務課・森林室。

<施設運営者の感想>

内容については、好評だったので、次年度も開催してほしい。
※苫前町ではこの後、子育て支援対策事業費補助金を活用して木製遊具を導入。

苫前町で開催された「木のおもちゃワールド（平成 23 年 12 月 3 日～7 日）」に、木育マスターによる「木育教室」を取り入れることで、「木とのふれあい」を、より親子で深められるイベントになりました。

▶木のおもちゃの講話

実際の木のおもちゃ（小型の木製遊具）を会場に持ち込み、その場で子どもたちに触ってもらうことで、木を使ったおもちゃが子どもの教育に良いことを親に伝えました【木育マスター大和】

▶クリスマスカードづくり

経木（木を削り取った薄い板のこと）を使ったクリスマスカード作りをしました。木皮を色紙にノリで貼り色紙で飾り付けをしていきます。木皮の樹種をいくつか用意することで、違った色合いを楽しむことができます。【木育マスター大和】（写真1）

▶松ぼっくりツリーづくり

松ぼっくりをツリーにみたくて台座と接着、全体を飾り付け。木製台座（枝等を輪切りにしたもの）や、松ぼっくりの着色は事前に準備しておきました。【留萌森林室】

▶木のおもちゃに触れる

木製遊具（木の玉プール、積み木、輪投げ、くるま、木馬、つりセット等）で遊ぶことで、その柔らかさや感触に親しめます。

積み木はドミノのように並べることで、遊びの幅を広げることができます。【木育マスター大和、留萌林務課・森林室】

<指導者の感想>

参加していた小学生が木の名前をたくさん知っていて、これまで参加していた「森歩き(?)」などの経験が生かされているのだなあと感じました。松ぼっくりのツリー作りや、クリスマスツリー型のカード作りなど、とても熱心に参加していたと思います。工作で木に触れるだけではなく、山歩きや森で過ごす経験は「木のこと」を知ることにつながっていく・・・と、良く理解できた活動でした。

～木育マスター大和

地元産の木の香りと 木製遊具の温もりの中で

平成 24 年 2 月 1 日 11:00～
ひまわり保育園（美幌町字三橋南 32-5）

～新園舎のスタートにふさわしいイベントになりました～



1 木製紙芝居の読み聞かせ 2 木製遊具「キッズハウス」 3 木製遊具「木のプール」に埋もれます。

■木育活動の流れ

●準備

- ・ ひまわり保育園の新園舎完成に合わせて、園が木製遊具をレンタルし設置しました。（写真2、3）
- ・ 「木育教室」などのイベント全体は、木育マイスターの丹野氏がコーディネートしました。

●実施

- ・ 紙芝居の読み聞かせ（写真1）を通じて、身近にある森林や木製品が私たちの生活とどう関わっているのか、また木製遊具を通して木の持つ優しさや温もりを感じ取ってもらいました。
- ・ 木製遊具は1週間ほど設置して継続して遊べるように配慮しました。

●参加者

- ・ 園児や保護者など 100 名。
- ・ 木育マイスター丹野氏。
- ・ オホーツク総合振興局林務課。

＜施設運営者の感想＞

イベントや期間中の遊具設置は好評だった。木製遊具の良さを感じたため、今後もレンタルや木製遊具のある施設を積極的に利用したい。

道産材をふんだんに使った約70m²の木造園舎のオープンに合わせて行われた、木の温もりいっぱいの木育活動です。

園児たちは紙芝居を楽しんだ後、木製遊具での遊びに夢中に・・・笑い声が響く保育園生活のスタートになりました。

▶森や木と私たちの生活のお話
紙芝居（ロール式になっていて、ハンドルを回すと絵が動きます。また、読み聞かせ方で伝えることに差が出ないようにするため、予め音声はデータで保存し、CDで再生できるしくみになっています）の読み聞かせを通じて、身近な森林や木製品、施設に設置した木製遊具がどのように私たちの生活と関わりを持っているかを伝え、森林の大切さを感じ取ってもらいました。【木育マイスター丹野】

▶木製遊具コーナー

オホーツク木のプラザから、木のプール、つりぼり、輪投げ、積み木、引き車などの木製遊具をレンタルし、長く園児に触れてもらえるよう1週間ほど設置しました（写真2、3）。

また、期間中の2月5日には新園舎の一般開放も実施して、より多くの人に木の良さを知って頂けるように配慮しました。

＜指導者の感想＞

今回は、幼稚園の新築園舎のオープンに合わせて、木育遊具と、木育紙芝居の読み聞かせを行いました。

木育紙芝居は、森から木がどのように消費者に届くかを、小さい子供でもわかる様に、工夫しました。聞いている子供達の真剣な表情が嬉しかったです。紙芝居の終了後は、木育遊具で元気に遊んでいる子どもたちが印象的でした。

紙芝居と木育遊具等のセットで、森の役割、木材の大切を学んで頂く良い機会であったと感じ、これからも各施設にレンタル等を実施していきたいと思います。

～木育マイスター丹野

地域の森への関わりが、 人とのつながりを深めていく

平成 23 年 11 月 12 日～13 日 10:00～16:00
イオンモール釧路昭和(釧路市昭和中央 4 丁目 18-1)

～トドマツ、シラカバ・・・たくさんの木が生活の中で使われています～



1 トドマツを使った花台づくり



2 木育マイスターの鈴木憲太郎氏による「木育」のお話



3 木製遊具のコーナー

■木育活動の流れ

●準備

- ・2011 国際森林年記念イベント「木育・森づくりパネル展」として木製遊具(写真3)をレンタル。
- ・木育工作体験コーナーの講師として、木育マイスターの鈴木氏に指導を依頼。
- ・資材は振興局林務課で準備。

●実施

- ・イオンモール釧路昭和の 1F サンコートに木製遊具や工作体験、パネル展の会場を設置。
- ・木育体験工作コーナーでは、木育のお話の他、シラカバ等を使ったコースターや、トドマツを使った花台づくりをしました。

●参加者

- ・木育体験工作コーナーに 600 名。
- ・木育マイスター鈴木氏。
- ・イベント全体は、釧路町村会で構成する地域づくり広域プロジェクト環境保全型森づくり PT と釧路管内市町村、くしろ森と緑の会が主催。
- ・釧路総合振興局林務課。

<施設運営者の感想>

お客さんにも好評だったが、施設単独での開催は難しい。他用途でも使う都合上、木育スペースの常設は難しいが、イベントについては、次年度以降についても協力していきたい。

「2011 国際森林年記念イベント『木育・森づくりパネル展』で実施された木育教室は、製材業という木育マイスター自身のこれまでの経験を生かし、幅の広い活動となりました。」

▶木育のお話

紙芝居「かんぱつってなに？」で人参の間引きに例えて間伐についてお勉強しました。「木育」について、まずは言葉を覚えてもらうように心がけました。【木育マイスター鈴木】(写真2)

▶花台づくり

トドマツの花台づくりを実施。木材に触れてもらい、木工作を体感してもらいました。木槌や電動ドライバーなど、普段あまり触れない木工道具に触れる機会になりました。【木育マイスター鈴木、釧路林務課】(写真1)

▶木のコースターづくり

木の輪切り(直径 8cm)の表面を磨き、表面に好きな絵を描いて作る木のコースターづくりをしました。

樹種による樹皮や木部の色の違いを体感してもらいました。【木育マイスター鈴木、釧路林務課】

▶木のマグネットづくり

四角い木片の角を紙やすりで削り、丸みをつけてから裏にマグネットシールを貼って作る木のマグネットづくりを実施。ナラ、トド、カラマツの色合いや、重さ、堅さが違うことを知ってもらい、樹種による違いを体感してもらいました。【木育マイスター鈴木、釧路林務課】

▶木製遊具コーナー

スマートボールや木のプール、ビー玉を転がして遊ぶ木の遊具などを設置し、気軽に木製品に触れてもらう機会をつくりました。【地域づくり広域プロジェクト環境保全型森づくり PT】

<指導者の感想>

イオンでの木育事業は、私にとっても勉強になり、有意義な時間でした。沢山の人達に「木」を知ってもらい、「木」に触れ合ってもらって良かった機会でした！ 今後のイベントも、事前に告知を十分したうえで、子どもから大人まで沢山の「木」を知るきっかけになれば嬉しいと考えます。

～木育マイスター鈴木憲太郎

仕事を通じた木との関わりと、 思いを伝える道具たち

平成 24 年 3 月 7 日 10:00～14:45

標津双葉保育園（標津町南 5 条西 2 丁目 1-1）

～私たちは「木」と一緒にお仕事をしています。～



1 薪ストーブで拾ってきた枯れ枝を燃やします



2 たくさんの木製遊具が用意されました



3 何の冬芽でしょうか？

■木育活動の流れ

●準備

- ・保育園が、子育て支援センターから木製遊具をレンタル。
- ・居住地の離れた 3 人の木育マイスター（釧路の大工柴田氏、弟子屈の自然ガイド萩原氏、札幌のおもちゃコンサルタント菊地氏）が協働で木育のプログラムを作成。
- ・振興局林務課が資材を準備、近隣の幼稚園・商業施設等にも見学について周知。

●実施

- ・木育マイスターが各々の仕事と木との関わりを話しました。
- ・たくさんの木製遊具とのふれあいを楽しむほか、絵本の読み聞かせをしました。
- ・望ヶ丘森林公園で冬芽探しや、枯れ枝拾い。保育園前に薪ストーブを設置して、みんなで仲良くティーパーティをしました。

●参加者

- ・標津双葉保育園園児 53 名、子育て支援センター利用者 15 名と、各施設職員。
- ・木育マイスター 3 名、見学者他
- ・根室振興局林務課 4 名。

＜施設運営者の感想＞

今回の木育教室を通じて、木育マイスターとの知己を得たので、今後は施設が直接木育マイスターと接触して、木育活動を進めていきたい。

木育マイスター 3 人のそれぞれの「仕事」の技術を生かすことで、「樹木（森にある木）」と「材（おもちゃ）」が繋がっていることを感覚的に理解できる、新しい木育教室になりました。

▶おしごと紹介

木育マイスターの自己紹介を兼ねて、実際に仕事道具を見せ、子どもたちに触れてもらいながら、3 人がそれぞれどのような形で木に関わっているのかを伝えました。【木育マイスター 萩原・柴田・菊地】



自然ガイド、大工、おもちゃコンサルタント

▶木のおもちゃで遊んでみよう
木製遊具でのまごと遊び（写真 2）などで木に触れるとともに、遊びの時間中に「木育の玉手箱」を活用して木について知る機会を設けました。【木育マイスター 3 名、根室林務課】

▶絵本の読み聞かせ

絵本「えぞまつ」の読み聞かせで、木の生命の循環を伝えました。細密画もポイントです。【木育マイスター 菊地】

▶樹木とふれあおう！

絵本「ふゆめがっしょうだん」の読み聞かせで、冬芽への興味を促したあと、夏の散歩コースになっている「望ヶ丘森林公園」に移動して、樹木や冬芽などの観察をしました。途中で枯れ枝も拾いました。【木育マイスター 萩原】（写真 3）

▶樹木のありがたさを感じよう！

薪ストーブで薪や拾った枝を燃やして、お茶を沸かしました。また、マシュマロも焼くなど、木が生活の中で役立っていることを知ってもらいました【木育マイスター 萩原・柴田】（写真 1）



＜指導者の感想＞

それぞれの仕事道具を見せて自己紹介することで森の木が木材になり、それが身近なおもちゃにつながることを子どもたちに実感してもらうことができました。離れた場所に住んでいても、得意分野を生かしながら木の様々な魅力を知ってもらうプログラムが実施でき、木育マイスターのつながり、活動の可能性を感じました。

～木育マイスター 菊地

その他の木育活動

木育職人塾 森のものづくり

生活協同組合コープさっぽろは、平成 23 年 5 月から平成 24 年 3 月まで、西宮の沢店（札幌市手稲区西宮の沢 3 条 1 丁目 12 番 1 号）の組合員交流室において、幼児から小学生を対象にした「木育職人塾 森のものづくり」を開催しました。



木育フェア in アリオ札幌

（株）イトーヨーカ堂は、平成 23 年 6 月 29 日～7 月 4 日に、イトーヨーカドーアリオ札幌店（札幌市東区北 7 条東 9 丁目）で「木育フェア in アリオ札幌」を開催しました。

イベントでは木製遊具を設置した「木育ひろば」や、輪切りの木に絵を描いてコースターを作る木工体験、木育マイスターによる木育教室「木が作る酸素を見てみよう～光合成を測ってみよう」、樹木の枝や葉を蒸留してアロマオイルを抽出するときに出る水を使った香水づくりと試飲体験、下川町のチェンソーカーバー木霊光さんによるカービングショー、道産白樺材で作られたアイスクリームスプーンづくり、ペレットストーブの燃焼展示などが行われました。

また、木育フェアの期間中は、北海道の木で作られた木馬や積み木、車などの木のおもちゃや、楽器、旭川家具などの展示販売も行われました。



キッズマイチャレンジフェスタで「木育」

子育て情報誌発行のエミナは、平成 24 年 2 月 5 日に、札幌パークホテル（札幌市中央区南 10 条西 3 丁目）の地下 2 階パークプラザで「キッズマイチャレンジフェスタ」を開催しました。

イベントでは、イロイロな「育」・・・「食育」、「花育」、「木育」、「知育」、「音育」を集めてイベントが催されました。子どもはもちろん、ママにもパパにも、家族みんなで楽しめるイベントで、最後の抽選会は大人が・・・本日一番の真剣さで盛り上がりました。

木育では、「木のプール」と「道南杉の積み木」で木の温もりや匂いを感じていただく「木育ひろば」を実施するとともに、木育マイスターによる「オガコアート」や、親子でマイ箸作り、キッズマイ箸作り、稲わら和紙作り体験などが実施されました。



木育ひろば in ウイングベイ小樽

木育ひろば in ウイングベイ小樽実行委員会（ようにてい森林組合、後志総合振興局産業振興部林務課）は、平成 24 年 2 月 18 日～19 日に、ウイングベイ小樽（小樽市築港 11）の 5 番館 1 階ネイチャーチャンバーで「木育ひろば in ウイングベイ小樽」を開催しました。

イベントでは「木でつくろう！」をテーマに木工クラフト、オガコアート、コースター・マグネットづくりが行われ、「木で遊ぼう！」をテーマに木のプールやカプラ（積み木）で遊べるコーナーが設置されました。また、ミニログハウスの組立実演やカラマツ木製品の展示、ペレットストーブの展示が行われたほか、道産材を使った家具・食器、様々な楽しいおもちゃ、北海道産の小麦粉を使ったパンの販売等も行われました。芽森※も出現するなど、木にふれる 2 日間になりました。



木育フェスタ～いちにち木の日～

木育フェスタ実行委員会（道南地域の木育マイスター 3 名など）は、平成 23 年 10 月 8 日（土）に大沼ふるさとの森自然学校（亀田郡七飯町字東大沼 294-1 流山温泉敷地内）で「『木育フェスタ』～いちにち、木の日～」を開催しました。

溪龍太鼓で始まり、森のプレーパーク、乳幼児のための木育コーナー、子どものイスづくり、木にお絵かき体験教室、木のカトラリー（バターナイフ）づくり、道南スギとトドマツのアロマ体験、たき火おやつ、おためしダッチオーブン、森のようちえん、子ども森づくりレンジャー、木のオルガンの演奏、sylvan×道南杉プロジェクトなど、「木育」に関する様々なイベントが催され、参加者はいちにち「木の日」を楽しみました。



オホーツク木育ひろば～札幌駅前通地下歩行空間

オホーツク木のプラザは、平成 24 年 1 月 13 日（金）～14 日（土）に札幌駅前通地下歩行空間 北大通交差点広場（東）で、「オホーツク木育ひろば」を開催しました。

木製遊具（つりぼり、木ZZハウス、すべり台、木のプール）の展示や、木工教室（貯金箱の製作）などが行われました。



※芽森：めもりー、芽森氏とも。札幌市在住（本籍苫小牧市）。「北海道の森林づくり」のシンボルキャラクター

木育イクメン～疲れたパパも木や森に癒されちゃおう！

手稲さと川探検隊は、平成 23 年 11 月 3 日、育児に携わるお父さんと子どもを対象とした、「木育イクメン」を開催しました。

午前は石狩市総合保健センター(りんくる)で「木育の玉手箱」を使った木育プログラム後、木のマグネットづくり。午後は明治 33 年に建てられた美登位創作の家(旧美登位小学校)へバスで移動し、お父さんと子どもは校庭の林でビンゴカードを使った葉っぱと種さがし、カエデの種蒔き(お母さんはミニ珈琲教室！)、小枝に刺したマシュマロを焼きました。最後はみんなで体育館に移動しおたのしみ劇場ガウチョスによる人形劇を楽しみました。



赤ちゃん木育広場・赤ちゃん木育寺子屋

札幌市内の子育てをする方々の交流スペース「マザーズスペース・ミーナ」で、「赤ちゃん木育広場・赤ちゃん木育寺子屋」が、平成 23 年度も開催されました。

おもちゃコンサルタントで木育マイスターでもある主催者が、北海道生まれの「木育」についてお話ししたあと、オススメの木のおもちゃを紹介したり、実際に子どもたちと一緒に自由に遊んだり、参加した子どもたちやお母さんは、木の音と香りに包まれてゆったりとした「木育」の時間を楽しんでいました。



製材工場見学や学校訪問を通じた「木育教室」

(株)ハルキでは、平成 23 年 7 月 13 日に森幼稚園を、11 月 18 日に七飯ほんちょう保育園、認定こども園どんぐりを対象に紙芝居と製材工場見学を合わせた木育教室を実施しました。

(株)丸善木材では、平成 23 年 9 月 23 日開催の「チャリティイベントあげぼよタウン」で木工教室を実施したほか、平成 24 年 2 月に釧路管内の小学校を対象とした木育教室を実施しました。



スノーシュートレッキングを通じた「木育」

NPO 法人ねおす「大雪山自然学校」では、平成 24 年 1 月 29 日に木育マイスターによる「スノーシュートレッキング＆クラフト体験」を開催しました。午前中はキトウシ山でスノーシューをはいて、夏では行けない場所を歩きながら、冬芽の観察や木材見本を使用した森の中の木と木材についての関係性についてのガイドを行いました。午後はクルミやエゾマツなど数種類の中から好きな木材を選んで行う木のマグネットづくりとカンナで作る檜の箸づくりを行いました。



資料集

<木育のプログラム例>

- 「木育マイスターと一緒におもちゃと森で遊ぼう!」【標津双葉保育園～根室振興局】

プログラム		標津町立双葉保育園木育教室	【最終更新日・作成者氏名】	
		「木育マイスターと一緒におもちゃと森で遊ぼう！」	2012.3.5.17:00 萩原寛暢	
【日 時】		平成 24 年 3 月 7 日（水）		
【活動地域】		標津町立双葉保育園周辺、		
【参加者】		【午前】4 歳児：14 名、親子交流館利用者：数名、5 歳児：16 名 【午後】5 歳児：16 名		
【スタッフ】		<木育マイスター>菊地、柴田、萩原 <保育士>●●先生+数名 <根室振興局>3～4 名		
【参加費】		なし		
【ねらい】		木育マイスターがそれぞれの「仕事」を見せることで、「樹木（森にある木）」と「材（おもちゃ）」がつながっていること、木は有用であることが感覚的にわかる		
【時 間】	【内 容】		【場所】	【準備物】
09:30	スタッフ集合、適宜打合せ、準備など		双葉保育園	
10:00-11:00	<u>はじまりの挨拶</u> ・●●先生よりマイスター3名の紹介 <u>木育マイスターってなに？</u> 『私たちは「木」と一緒にお仕事をしています』 ・それぞれにお仕事を紹介（3分くらい） 1）萩原：自然ガイド（自然が好き。森を歩く） →ガイドの道具（図鑑など小道具類） ⇒森にはたくさんの種類の木が生えているんだよ 2）柴田：大工さん（木を使って家を建てる。木工が得意） →家を建てる時に使う材料、道具類（腰袋も） →廃材を使っておもちゃを作っている ⇒木は私たちの暮らしに役立っています 3）菊地：先生の先生。子どもやおもちゃのことを教える →音や動きを楽しむおもちゃの紹介 →日本の木を使って作家さんが思いをこめて作っているおもちゃです ⇒木のおもちゃはみんなと仲良し！ <u>木おもちゃで遊んでみよう！</u> 『今日は木のおもちゃをたくさん持ってきました！みんなで遊んでみましょう！』 ・木のおもちゃ、木製砂場で遊ぶ（保育士さんに砂場などでの安全管理をお願いしたい） ・マイスターは、持参した道具に興味を持ってきた子どもがいれば相手をする。様子を見て適宜木のおもちゃで遊んでいる場所へ。 ・ ※11:00 ちょうどで終わらせるか 11:20 まで延ばすかは現場の様子をみて調整 （「えぞまつ」という絵本がある（ただし長い） <u>おわりの挨拶</u> ・子どもの感想を何人かに聞いてみる ⇒たくさんの木の種類があって、木は楽しくて私たち		保育園ホール	
※11:20 まで延びでも対応可能（この後に給食時間）				

	の役にたっている		
	11:20 頃から給食準備（ここまで延びても対応可能） スタッフ休憩		
13:00-14:45 ※15:00 からおやつ の時間	【午後の部：通常のプログラム】 はじまりの挨拶（年長組保育室）※ホールは昼寝の場所 ・もう一度マイスターの自己紹介（挨拶程度） ・絵本の読み聞かせ「ふゆめがっしょうだん」（萩原） →「冬には冬芽があるらしい、しかも色々な表情があるようだ。みんなが夏にお散歩に行っている望ヶ丘はどんなふうになっているのだろう？出かけてみよう！！」 移動（保育園→望ヶ丘森林公園）徒歩 5 分程度 樹木とふれあおう！（1 時間程度） ・冬芽さがし →大人は、見つけたものには冬芽に限らず全力で共感 枯れ葉なんかも見つかると思います。 →園児が行くほうへ大人もついていく（※雪深いです！） →今日は特別に枝を拾って帰っても OK！（ただしもって帰れる大きさ） ⇒樹木にはたくさんの表情があるんだね。冬はこんな姿をしているんだね。 ※雪が深いです（大人が埋まります） ※頭上に落ち枝が引っかかっている場合あり。要注意 移動（望ヶ丘森林公園→保育園）徒歩 5 分程度 樹木ありがたさを感じよう！ ・焚き火タイム →焚き火台 or 薪ストーブ（萩原持参）で拾った枝を燃やしてみる乾燥した薪も持参します） →お湯を沸かしてお茶をいれる ⇒木は燃える。燃えると役に立つ おわりの挨拶 ・マイスターそれぞれから挨拶とメッセージ	望ヶ丘森林公園 →夏場はお散歩コース	
13:00-14:45	【午後の部：荒天時のプログラム】 はじまりの挨拶（年長組保育室） ※午前中と同じ流れで実施する。柔軟に展開。 <菊地> 木の砂場、積み木、バランスゲームなど 木のおもちゃで大人も一緒にコミュニケーションをとる 「木育の玉手箱」の中の木に対応した葉（ラミ済み） <柴田> 仕事で使用する道具類など <萩原> 冬芽のサンプル 絵本「ふゆめがっしょうだん」		

＜木育イベントに必要な経費＞

木育イベントには、木工教室の材料費や森林散策の観察資材、植栽木の苗木代、木製遊具の購入・レンタル料の他に、木育マイスターへの謝金、旅費などが必要です。

材料費	■木のスプーンづくり (60 名分) 金額 4 万円程度 資材 スプーンづくりキット、刷毛、エゴマ油、古新聞など。 ■木製スクラップブック (40 名分) 金額 3 万円程度 資材 フォトスタンド、イーゼル、マスキングテープ、色画用紙など。 ■木のマグネットづくり (40 名分) 金額 1 万円程度 資材 木のマグネットづくりキット (又は木片、マグネットシート、紙やすり) など。 ■絵本の読み聞かせ・紙芝居 金額 数千円程度 資材 絵本、紙芝居 (枠含む) など。 ■植樹・育樹体験 (20 名分) 金額 数千円～数万円程度 (現地までの移動手段や、活動内容により大きく異なります) 資材 苗木、スコップ、枝打ち鋸、ヘルメットなど。他にバス借上料などが必要です。 ■木のコースターづくり (40 名分) 金額 2 万円程度 資材 木のコースター、マジックなど。 ■オガコアート (40 名分) 金額 2 万円程度 資材 オガコ、ポスターカラー、木工用ボンド、透明パック、布テープなど。 ■落ち葉のラミネートづくり (40 名分) 金額 1 万円程度 資材 ラミネーター、ラミネートフィルム、マジック、葉を乾かす古新聞など。 ■森林の散策 (20 名分) 金額 数千円程度 資材 虫眼鏡、ルーペなど。※活動によっては別途傷害保険の加入をお勧めします。
備品費 又は 賃借料	■木製遊具のレンタル1 (2 日間) 金額 3～5 万円程度～ 資材 木の砂場やすべり台、輪投げなど。  ※取りに行く場合を除き、配送料が別途発生します。(北見～札幌往復で 10 万円程度) ■木製遊具のレンタル2 金額 無料 (配送料別途) 資材 小型の木製遊具 数十点。 林業木材課では、道主催、又は木育マイスターによるイベントに、無料で小型の木製遊具やルーペなどを貸し出しています。 ※取りに来られる場合を除き、配送料が別途往復数千円程度発生します。 ■木製遊具の購入 小型の木製遊具 金額 数千円～2 万円程度  大型の木製遊具 金額 200 万円前後～数千万円 
謝 金	講師 (木育マイスターなど) にもよりますが、1 回 1～2 万円がかかる場合があります。 ※木育マイスターは、木育イベントの企画・運営 (得意分野や経験を生かして自ら活動したり、コーディネートを行います)、木育プログラムの開発などを行います。
旅 費	公共交通機関、自家用車利用の場合には、交通費の実費がかかります (但し、遠隔地の場合には航空機の料金や、宿泊費などがかかる場合があります)。

※「木育教室」など、木育イベント実施の際の参考としてご利用ください。

④が育った⑤を感じる～木育事例集 2

発行日：平成 24 年 6 月

発 行：北海道

編 集：北海道水産林務部林務局林業木材課林業木材グループ

〒060-8588 札幌市中央区北 3 条西 6 丁目

電 話：(代) 011-231-4111 内線 28-564

ファクシミリ：011-232-1294

メールアドレス：suirin.rinmoku11 f@pref.hokkaido.lg.jp

